

施策 1 1 4 感染症の予防と体制の整備

基本事業 1 1 4 0 1 感染症予防普及啓発の推進（主担当 健康増進課）

医療機関の協力を得て感染症の患者発生状況、病原体検索結果等により流行状況を早期に把握し、三重県感染症情報センターから予防、診断等に役立つ情報を提供・公開しています。

1 感染症発生動向調査事業

管内医療機関医師や医療機関定点から提供される感染症の発生状況をコンピュータオンラインシステムにより三重県感染症情報センターへ報告します。

同センターで集約された感染症に関する情報は、インターネットを利用したコンピュータシステムにより迅速に分析、提供、公開することで感染症のまん延を未然に防ぎます。

- (1) インフルエンザ（内科）定点・・・4ヶ所
- (2) インフルエンザ（小児科）定点・・・7ヶ所
- (3) 小児科定点・・・・・・・・・・・・・・7ヶ所
- (4) 眼科定点・・・・・・・・・・・・・・2ヶ所
- (5) STD定点・・・・・・・・・・・・・・2ヶ所
- (6) 基幹定点・・・・・・・・・・・・・・1ヶ所

2 発生動向病原体検査

感染症の患者情報と共に病原体に関する情報を一元的に収集・分析、提供、公開するシステムを構築し総合的な感染症対策に資するため、有効かつ的確な検査事業を実施します。

実施件数

平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

四類感染症							
Q熱	A型肝炎	日本 紅斑熱	SFTS	脳炎・脳症	デング熱	チクングニア熱	レプトスピラ症
1	1	49	2	4	4	3	1
五類感染症（全数）				五類感染症（定点）			
先天性 風しん症候群		麻しん・風しん		インフルエンザ	感染性胃腸炎	手足口病	百日咳
2		2		11	30	6	1
五類感染症（定点）							
ヘルパンギーナ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		不明発疹熱	
9		7		1		1	

基本事業 11402 感染症危機管理体制の整備 (主担当 健康増進課)

平常時から感染症の正しい知識の普及啓発を実施し、伊勢志摩地域における感染症等の健康危機発生を予防するとともに、拡大防止のため迅速かつ的確な対策を総合的に推進してまん延防止に努めています。

1 感染症発生状況 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

一類感染症：0 件

二類感染症：0 件 (結核を除く)

三類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 7 件 (保菌者を含む)

四類感染症：A 型肝炎 2 件、デング熱 2 件、日本紅斑熱 29 件、レジオネラ症 2 件、アメーバー赤痢 1 件、ウイルス性肝炎 1 件、

五類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症 9 件、クロイツフェルト・ヤコブ病 1 件、後天性免疫不全症候群 1 件、侵襲性肺炎球菌感染症 6 件、梅毒 1 件

○ 発生状況の推移 (三類感染症) (年度)

区 分	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	1	0
腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	0
腸管出血性大腸菌感染症	2	7	14	7	3	5	12	7
合 計	2	7	14	7	3	5	13	7

○ 社会福祉施設等における感染症等集団発生時に係る報告対応及び医療機関における院内での感染症集団感染事例報告対応

初発日	施設所在地	対象感染症	現地調査年月日	終息日
26. 4. 21	南伊勢町	インフルエンザ [◇] B	26. 4. 25	26. 5. 7
26. 5. 16	玉城町	ノロウイルス	26. 5. 28	26. 6. 10
26. 12. 24	玉城町	インフルエンザ [◇]	27. 1. 2	27. 1. 18
27. 1. 4	志摩市	インフルエンザ [◇] A	27. 1. 7	27. 1. 14
27. 1. 7	志摩市	インフルエンザ [◇] A	27. 1. 12	27. 1. 28
27. 1. 8	大紀町	インフルエンザ [◇] A	27. 1. 19	27. 1. 29
27. 1. 14	伊勢市	インフルエンザ [◇]	27. 1. 21	27. 1. 26
27. 1. 31	南伊勢町	インフルエンザ [◇] A	27. 2. 3	27. 2. 16
27. 1. 13	伊勢市	インフルエンザ [◇] A	27. 2. 5	27. 2. 2
27. 2. 4	南伊勢町	インフルエンザ [◇] A	27. 2. 7	27. 2. 20
27. 2. 1	伊勢市	インフルエンザ [◇] A	27. 2. 9	27. 2. 17
27. 2. 1	大紀町	インフルエンザ [◇] B	27. 2. 10	27. 2. 24
27. 2. 8	南伊勢町	インフルエンザ [◇] A	27. 2. 16	27. 2. 24

2 検疫実施状況

検疫通報件数 0件

3 行政検査実施件数

平成26年4月1日～平成27年3月31日

腸管出血性大腸菌		レジオネラ症		合 計
家族・接触者	陰性化検査	拭き取り検体	水	
28	13	6	1	48

4 伊勢地域感染症対策会議の開催

平成25年4月に施行された新型インフルエンザ特別措置法により各市町に新型インフルエンザ行動計画の策定が義務づけられました。

同行動計画を策定するため、感染症に関する専門的な知識を有する者、その他学識経験者から意見を聴取するための会議を開催しました。

また、西アフリカにおけるエボラ出血熱発生対応に係る情報共有のための関係者会議を開催しました

- 日 時：平成26年5月30日（金） 19：00～
場 所：三重県伊勢庁舎 1階 101会議室
内 容：ア 伊勢市新型インフルエンザ行動計画（案）について
イ 度会郡各市町新型インフルエンザ行動計画（案）について
- 日 時：平成26年7月15日（火） 19：30～
場 所：鳥羽市保健福祉センター ひだまり 2階 元気ルーム
内 容：ア 鳥羽市新型インフルエンザ行動計画（案）について
イ 志摩市新型インフルエンザ行動計画（案）について
- 日 時：平成26年12月11日（木） 19時30分～
場 所：三重県伊勢庁舎 4階 第402会議室
内 容：ア エボラ出血熱対策に係る最新情報について

基本事業 1 1 4 0 3 感染症対策のための相談・検査の推進

(主担当 健康増進課)

結核患者・家族・接触者に対し、定期及び定期外健康診断を実施し、まん延の防止を図ります。

性感染症まん延防止のため、知識の啓発を図ると共に相談や検査を実施します。

1 結核予防対策

結核の予防及び結核患者に対する適正な医療の普及を図るとともに、接触者健診に重点を置き患者管理の徹底を図りました。

新たに発生する結核患者に占める高齢者の割合は年々増加傾向にあることから、高齢者に関わる各機関に対して啓発活動を強化し、早期発見・早期治療及び服薬支援体制整備に繋げました。

また、学校保健においては教育委員会と連携を図り、集団感染の予防対策に努めました。

(1) 定期健康診断実施状況

平成 27 年 3 月 31 日現在

区 分	定 期							計
	事業者	学 校 長			施設 の長	市 町 長		
		高校	大学	その他		乳幼児	その他	
BCG接種者数							1,539	1,539
間接撮影者数	1,030	2,323	0	35	548		2,482	6,418
直接撮影者数	8,572	0	757	48	1,290		12,220	22,887
喀 痰 検 査	0	0	0	0	0		0	0
被 発 見 者 数	結核患者	1	0	0	0		0	1
	結核発病のお それがあると 診断された者	1	0	0	0		0	1

(2) 接触者・管理健康診断実施状況

平成 27 年 3 月 31 日現在

区 分	受 診 者 数	ツ 反 応 検 査	B C G	直 接 撮 影	喀 痰 検 査	Q F T 検 査	結 果	
							要 治 療	要 注 意
家族接触者健診	393	5	0	229	0	169	10	4
管理健診	9	0	0	9	0	0	0	0
計	342	5	0	238	0	169	10	4

(3) 結核登録患者状況

市町別結核登録者数

平成26年12月31日現在

区分 市町名	登録数	活動性	新登録数	人口	有病率	罹患率
伊勢市	26	9	13	127,587	7.1	10.2
鳥羽市	8	2	3	19,643	10.2	15.3
志摩市	29	6	8	51,035	11.8	15.7
玉城町	3	1	1	15,517	6.4	6.4
度会町	2	1	0	8,321	12.0	0.0
大紀町	4	2	2	9,108	22.0	22.0
南伊勢町	9	2	1	13,054	15.3	7.7
管内合計	81	23	28	244,265	9.4	11.5

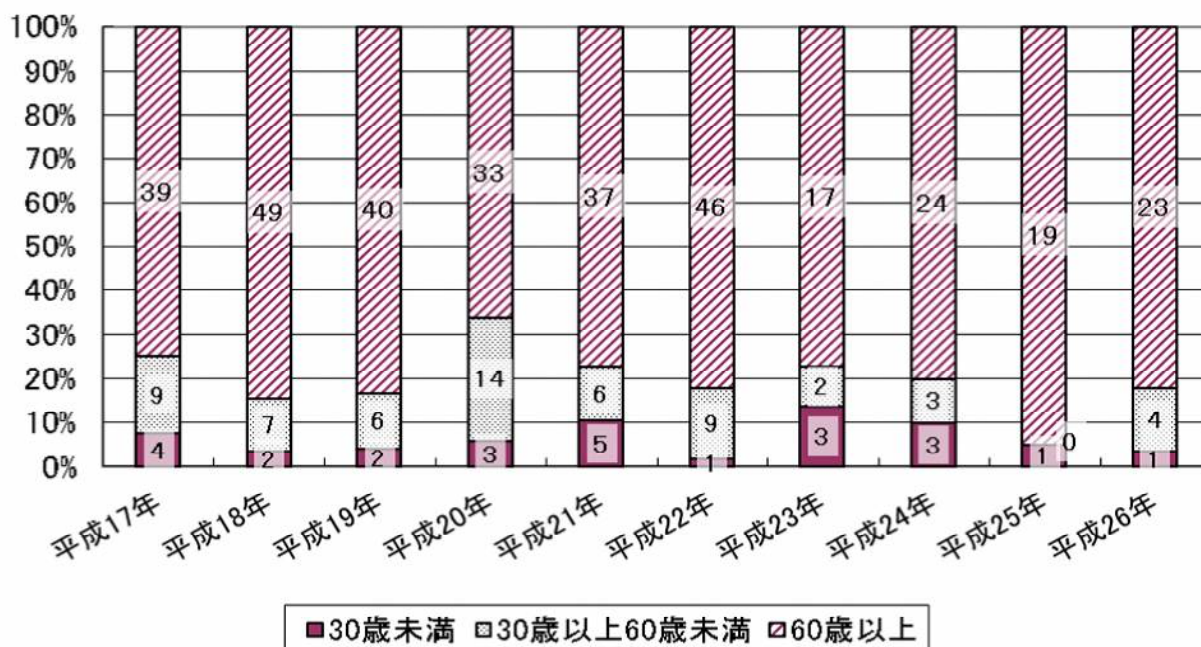
(注) 人口は平成26年10月1日現在。

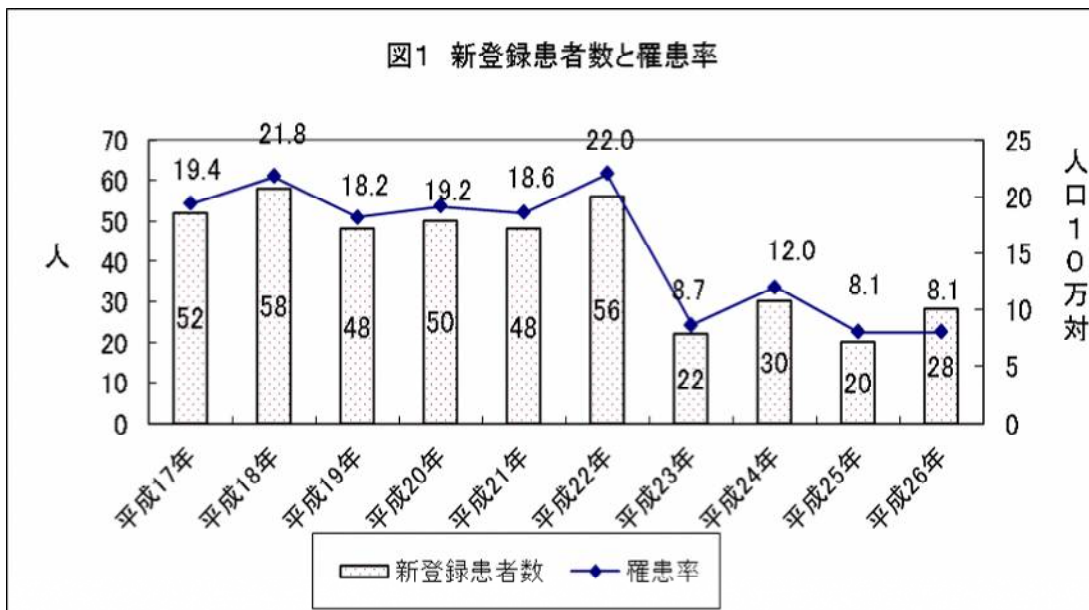
有病率：活動性全結核患者数／人口×10万人

罹患率：新規登録結核患者数*／人口×10万人 *潜在性結核感染症除く

(4) 結核に関する統計資料

図2 年齢階層別新登録者割合





(5) 学校保健との連携

学校保健では、結核患者の早期発見及び集団感染の予防のため、定期健康診断を実施しています。保健所は公衆衛生の専門機関として、教育委員会や保健所感染症診査協議会の専門医と協力し、結核患者に関する情報の整理や教育委員会主催の結核対策委員会運営にあたり、事務局への助言・指導を実施しました。

(6) 平成26年度結核対策特別促進事業

患者の高齢化と服薬環境の多様化に伴い、医療機関や地域の関係機関との連携を強化した個別の服薬支援が重要であることから、院内DOTSから継続した地域DOTSを推進することで、結核の最大の予防策である服薬の完遂をめざした。

- ① 結核病床を有する病院とのDOTSカンファレンス
参加者：医師、看護師、ソーシャルワーカー等
実施回数：12回（伊勢赤十字病院）
内容：入院中及び退院後の患者についての事例検討、情報交換
- ② 個別の服薬支援
訪問延べ63件、郵送延べ6件、電話延べ13件、
所内面接延べ4件
- ③ 結核の知識普及・啓発
研修会の実施：
高齢者介護施設 2施設 受講者数76名
保健所ホームページに掲載：
結核予防に関する知識・情報について

※「DOTS」とは、Directly Observed Treatment, Short-course（直接服薬確認療法）のことで、WHOの推奨する患者の服薬を医療従事者等の第三者が確認する治療法をいいます。日本では平成12年に日本版21世紀型DOTS戦略として、必要に応じてDOT（Directly Observed Therapy：直接管理下治療）も用いる包括的な服薬支援体制を推奨しています。

2 エイズ相談・検査及び普及啓発事業

エイズ対策として、性感染症や大きな社会問題となっているエイズのまん延防止をはかるため、知識の普及、啓発を図るとともに、検査、医療の充実、相談、指導など総合的に事業を展開しました。

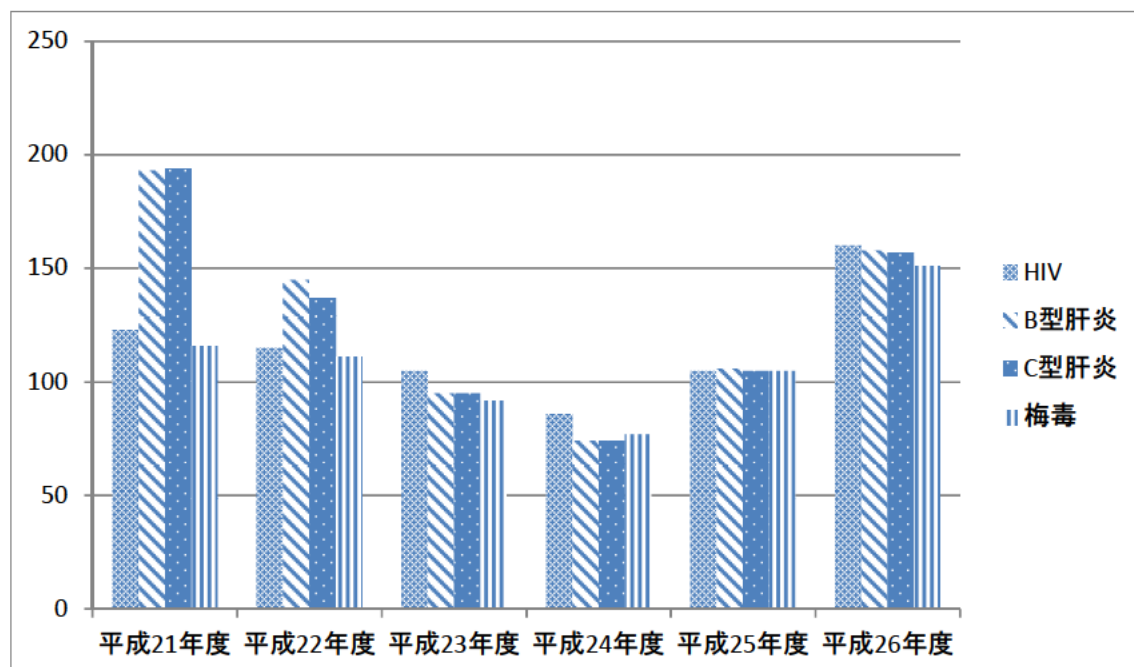
- (1) エイズに関する正しい知識の普及啓発を図るとともに相談及び抗体検査を実施しました。

平成 27 年 3 月 31 日現在

相 談 件 数					検 査 件 数	
電 話		来 所		合 計	スクリーニング 検査	確認検査
男	女	男	女			
7 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	8 (0)	160 (70)	1 (1)

() 内は夜間実施分(再掲)

○特定感染症検査数の推移



(2) エイズ感染予防と患者及び感染者への偏見の除去、さらに共生社会への構築を図るための普及啓発を実施しました。

- HIV検査時に相談者にアンケート調査を実施し、HIVに関する知識、理解度を把握しました。

○ 世界エイズデーキャンペーン実施状況

実施日	対象者	内 容
平成 26 年 11 月 1 日	学生と地域住民	エイズ予防に関する呼びかけと啓発物品 ポケットティッシュ 1,600 個の配布
平成 26 年 12 月 1 日	近鉄宇治山田駅 利用者	
平成 26 年 11 月 21 日～ 11 月 26 日	地域住民	ミタス伊勢において、啓発用ティッシュと パンフレットを設置し配布。
平成 26 年 11 月 25 日～ 12 月 1 日	職員、地域住民等	伊勢庁舎ロビーにおいて、啓発用ティッシ ュとパンフレットを設置し配布。

3 特定感染症検査

(1) 梅毒等検査状況

「性感染症に関する特定感染症予防指針」に基づき、エイズ相談・検査の希望者に対して梅毒検査を実施することにより性感染症の予防の推進を図り、またウイルス性肝炎の検査を推進することで、これら感染症のまん延の防止及び発生予防を図りました。

平成 27 年 3 月 31 日現在

	梅 毒	B型肝炎	C型肝炎
男	109 (50)	113 (51)	112 (50)
女	42 (14)	45 (16)	45 (16)
合 計	151 (64)	158 (67)	157 (66)

() 内は夜間検査実施分(再掲)